

整備項目表（道路）

路線名		所在地	
延長距離			

1 歩道等

整備基準		図面及び歩道等の名称又は番号（記号）	設計内容	判定
歩道等を設ける場合には、次の整備基準に適合させること。			(歩道等) ・ 有 ・ 無	<div></div>
歩道等の構造	有効幅員2m以上（自転車歩行者道は3m以上）		(幅員) m	
	平たんな仕上げ			
	滑りにくく、水はけの良い仕上げ		(仕上材)	
	歩道と車道に分離		(分離する方式) ・ マウントアップ方式 ・ フラット方式 ・ その他 () (分離するもの) ・ 縁石 ・ 植樹帯 ・ 防護柵 ・ アスカーブ ・ その他 ()	
	セミフラット形式を標準とする			
	横断勾配1%以下（沿道の状況その他の特別な理由によりやむを得ない場合には2%以下）		(横断勾配) %	
	段差の切下げ		・ 歩道等の巻込部の歩道と車道 ・ 横断歩道の歩道等と車道 ・ 横断歩道の中央分離帯と車道	
	すりつけ勾配5%以下		(勾配) %	
	切下げ部分の段差2cm、角をとる		(段差) cm	
	排水溝に適切な溝蓋の設置		(排水溝の有無) ・ 有 ・ 無 (溝蓋の構造)	
	線状ブロック及び点状ブロックの敷設		平面図に敷設箇所を記入し、使用するブロックのカタログ等を添付してください。	

- (注意) 1 記入方法
- (1) 「図面及び歩道等の名称又は番号（記号）」及び「設計内容」の欄に必要な事項を記入してください。

(2) 「判定」の欄には、整備基準に適合する場合には「○」を、適合しない場合には「×」を、該当する事項がない場合には「／」をそれぞれ記入してください。ただし、判定の欄が「\」になっている場合には、記入の必要はありません。
- 2 用語の説明
- (1) 「線状ブロック」とは、視覚障害者の誘導を行うために床面に敷設されるブロックその他これに類するものであって、線状の突起が設けられており、かつ、周囲の床面との色の明度の差又は輝度比が大きいこと等により容易に識別できるものをいいます。

(2) 「点状ブロック」とは、視覚障害者に対し段差の存在等の警告又は注意喚起を行うために床面に敷設されるブロックその他これに類するものであって、点状の突起が設けられており、かつ、周囲の床面との色の明度の差又は輝度比が大きいこと等により容易に識別できるものをいいます。
- 3 整備基準の説明
- 線状ブロック及び点状ブロックは、市街地を形成している地域の歩道等並びに市街地以外で視覚障害者の歩行が多い歩道等及び公共交通機関の駅・停留所と視覚障害者の利用が多い施設を結ぶ歩道等に敷設してください。